



WAVE 51号

ウェーブ

2012年11月
2 被災地にとどけたい
私たちのこころ
3 シリーズ共済 NO.2
4 INFORMATION

街にたくさんのワーカーズ

行政との連携
越谷市の場合



越谷市には現在、連合会に所属するワーカーズが8団体あります。そのうち4団体が商工会などの委託事業を受けたり、越谷市の補助金制度を活用しています。「新しい公共」の担い手として、ワーカーズは地域が必要としているサービスを事業化し、行政との連携も増えています。越谷市はワーカーズとの連携を早くから進め、今後の展開も期待されます。

ワーカーズ・コレクティブ ふるさと

〒343-0804 越谷市南荻島 3290 の 5
048-940-5550



ふるさとの物産をPR

越谷市には多くの伝統手工芸品があり、それらを作る職人技の数々が近世から伝承されています。駅前に開発された新しい町ツインシティの一画にある『越谷市物産展示場』に集められたものは越谷の工芸品のほんの一部のものではありますが、越谷を多くの方々に知ってもらおうきっかけとなっています。

ワーカーズ・コレクティブ“ふるさと”は、越谷市が商工会と連携し、リニューアルした物産展示場で、伝統工芸品のPRと販売を商工会から委託された新しい事業体です。

先般、“ふるさと”は設立記念講演会を開催し、WNJの藤木事務局長の講演と併せて、多くの方々のご参加も得ました。今後のワーカーズへの展開もまた一步前進するものと大きな期待を持っております。

安嶋 修

ワーコレ越谷

〒343-0836 蒲生寿町 5 19
048 975 8636



地域の生産者と消費者を結びます

ワーカズコレクティブ・こしがや(ワーコレ越谷)は、越谷市農業振興課と生産者団体とで構成された運営協議会より委託を受けて、農産物及び加工品の販売を行っています。

地産地消を目的とし、農家の継続と消費者の食生活支援のために販売活動を行っています。

第3土曜日を「とれとれの日」としポスター・チラシのポスティングをしてアピールをしている「店内販売」と、生産者とタイアップして毎年、枝豆・ネギ・サツマ芋などの収穫体験をする「店外販売」とに大別され顧客のニーズに応えられるように、メンバーで日々奮闘しています。

勘田 勲

NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブ みるく

〒343-0023 東越谷 3 6 23
080-2055-2092



子育て中のパパママを支えて

昨年から開催が週3日から週5日になり、年間の来場者が1000人(親子500組)増加しました。それだけ地域に認知してきたものと自負しています。

最近は定員10組を上回る来場があり、別の拠点で出前講座も開催しています。また「パパ仲間作り企画」も助成金事業として展開しています。当初から人気の食育講座も、毎月1回ですが、参加するお母さん達の熱心さには驚くばかりです。

子どもを健やかに育てるために必要な情報提供、支援、助け合いをこれからも続けていきながら、一人でも多くの参加者が自ら主体的に関わる仕組みを考えていきたいと思います。

尾澤 あきつ



企業組合 キッチンとまと

〒343-0022 蒲生東町 18-13
日の出商店街 048 987 8088



空き店舗の活用で
地域に根ざしたお弁当作り

越谷市蒲生「日の出商店街」で、越谷市の空き店舗有効活用の補助金を利用し、新メンバー7人での再出発をして早くも1年が経ちました。商店街に来たお客様も、惣菜や弁当を購入しに立ち寄ってくれます。お陰様で少しずつ定着して来ているようです。

10月には「日の出商店街の活性化」と「キッチンとまと」1周年を記念して「協同まつり in こしがや」が賑やかに開催されました。

相変わらず人手不足ですが、これからもメンバーで力を合わせ、地域に根ざしたお弁当作りを頑張って行きたいと思っています。

須長 こう

被災地にとどけたい私たちのこころ

東日本大震災から一年8か月が過ぎようとしています。国の復興支援が進まない中、私たちにできることがあるのではないかでしょうか。ワーカーズの仲間の活動を紹介します。



大船渡市での起業支援 WNJ 「3人寄れば何かが始まる」

WNJ(ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン)では岩手県大船渡市の復興のための国土交通省のまちづくり助成金事業の一部(市民による仕事づくり)を生活サポート基金から受託し、半年前より定期的に現地に通いながら起業講座などを行っています。私もWNJ起業支援チームの一員として現地での活動を行っています。

時が止まっている被災地の現状

初めて大船渡市に行った時のその光景は忘れられないものでした。がれきは片付けられているものの住宅地であったであろう場所はそのまま野ざらしでその中に宿泊するホテルがぽつんとあるだけ。近くに仮設商店街もありますが、夜になると街灯も少なく暗闇の中、ホテルのネオンの看板をたよりに帰ります。がれき置き場にはさびた廃車やがれきがうず高く積まれていました。鉄道は分断され、駅があった場所もまったく元の姿をとどめていません。私たちも現地まで、仙台からバスで4時間かかる状態でした。

私の日常とは別の風景。大震災が起きてから一年半以上たつのに、時の流れが進んでいないと痛感しました。

今を超えていく力になれば

二度目に行った時には海岸から離れた場所にある大規模仮設住宅にも伺いましたが、昼間でしたがひっそりとして出かける場所も手段もない状況では心も閉ざされてしまうのではと心配になりました。

講座ではワーカーズという名前も働き方も初めて知ったという方々ばかりでした。それでも止まった時間を前に進めたいと思っている人たちが「三人寄れば何かが始まる」という言葉に動かされ参加したという話を聞き、何とかこの地にワーカーズ・コレクティブを立ち上げたいと強く思いました。助成金事業は2月で終了しますが、WNJではこの出会いを大事に継続的に支援を続けていきます。大船渡市だけではなくまだまだ支援が必要な地域はあると思います。WNJは他の地域への起業支援も検討していま

宮城県女川町うみねこハウス

布ぞうり作りなど、被災した高齢者の働く場を作っているNPOの活動拠点。WNJのカンパ金から、このコンテナハウスの購入資金を一部貸与できた。(赤十字資金のおりるまで)

ですので、情報の提供をお願いします。

そのような事業を継続し、WNJ起業支援チーム委員が現地で活動できる資金を捻出するために、第2次カンパを今受け付けています。ぜひご協力をお願い致します。

連合会会長 後藤 成美

活動資金のカンパ口座

郵便振替口座 00140-5-655430

加入者名 WNJ 東日本大震災カンパ口座

宮城県石巻市

2012.10.5



被災地を忘れずにいたい
てとて

チャリティコンサートで
たくさんの人と被災地を結ぶ

てとては、被災地支援として直接的な支援と、間接的な支援を行っています。直接的な支援として車検や移送など必要経費約¥80,000の寄付を募り、2011年5月中古の軽自動車を石巻のグループホームに譲渡しました。

間接的には、宮北会(被災地支援のボランティア団体)を支援しています。今年3月、チャリティコンサート「助け合い、響き合う心」を北本市の後援を得て、生活クラブ生協桶川北本支部との共催で開催し、約¥58,000を寄付しました。コンサートでは、宮北会の代表から「今、被災地は、個人個人の状況が複雑化する段階」というお話がありました。宮古、山田町に支援先を決め、そこで出会った人を忘れずにいるというメッセージを送り続けるために、少なくとも10年は現地を訪問する支援活動を継続するそうです。

てとてとしてできることは何かを考え、被災地を忘れずにいたいという思いで小さなことでも継続していくと考えています。

仲谷まり

大槌町避難所への炊き出し 雪花菜くらぶ 安心、安全な食を届け続けて

私たちは岩手県大槌町へ、安心、安全な家庭料理を届ける支援活動をしてきました。

避難所への家庭料理の提供は、皆に驚かれ、喜ばれました。仮設住宅へ移られてからは、65歳以上の方たちへ、弁当を届ける活動をしてきました。大槌町の社会福祉協議会などの協力の元で行いました。

雪花菜くらぶでメニューとレシピを作り、下ごしらえをして、現地のボランティアの人たちと一緒に作りました。沢山の人たちに支えられての、支援活動でした。数回行った避難所への炊き出しは周囲の人たちの支援金と、雪花菜くらぶの皆の力の結集で乗り切りました。

今、大槌町では震災前に比べて、血圧の上昇などが心配されています。現地の人たちによる、ワーカーズができたら、安心、安全な食の提案、提供ができると思います。現地の人たちの目線での、心のケアも大切だと思います。一瞬にして、夫、家、身内を失った気持ちがわかるか、と聞かれます。胸がつります。ラッシュバックに襲われて、と言われます。どんなかたちでもつながっていたいと、言ってくれます。被災地のことをいつまでも、忘れないことが大切だと思います。

来年は大槌から食の仲間が来ることになっています。
岩沢 はる



南三陸町へ裁縫セット
この指とまれ！
「復興支援海苔」
との出会い

この指とまれ！の会員に宮城県南三陸町出身の方がいます。私達で何か支援が出来ないかと相談し、手作りの小袋に裁縫セットを入れて30袋を南三陸町の仮設の皆様に送りました。

そのお礼として、海苔を送っていただいたのが復興海苔支援のきっかけです。

被災地では、少しずつではありますが復興支援海苔の販売が出来るようになったとお便りをいただき、海苔の共同購入を通じて知り合った「千葉海苔店」さんの復興支援をするようになりました。

「千葉海苔店」さんが、南三陸町の「さんさん商店街」に移設した写真を送ってくれましたが、かつての工場・店舗のあったところは、南三陸防災センターの裏手にあり、今もその周辺は手つかずのままであります。

私達に出来ることは、これら震災の現実を受け止め、決して忘れないことと私達の出来ることで永く支援を続けて行くことではないでしょうか？

井瀧 佐智子

シリーズ共済 NO.2

働く人の補償を備える法律「働く人の協同組合法」の制定を目指しながら



全国組織ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパンでは、ワーカーズ・コレクティブを規定する法律の制定を求めて長い間活動していました。

現行の労働者を保護する法律である労働基準法は雇用関係が前提となりづくられています。雇用関係が存在しない私たちの働き方は、法律上は雇用保険の適用を受けられません。多くのワーカーズの事業所では、代表者と雇用関係があることとして労災に加入したり、また代表者は特別加入しているのが実態です。

しかし、私たちは個人事業主でもなければ、経営だけを担う代表者でもありません。出資、経営、労働の一体型の事業体です。働く人として労働者

保護の対象でもあるのです。これまでの法制化運動の中では、働く人として労働基準法の適用を求めてきました。雇用中心型の働き方のなかで、ワーカーズのように雇われないで働くことがもっと広く周知され、労働基準法そのものを変えていく必要性が社会に認知されるためには、ワーカーズの数を増やしていくことしかありません。

遠い先に期待しつつも、しかし日常のワーカーズの業務の中にもリスクはあります。今日の、明日の事故などで仕事ができなくなった時の補償が必要です。

ワーカーズコレクティブ共済株式会社が行うたすけあいによる保障を活用しつつ、私たちの働き方の社会化を目指して行きましょう。

新しい仲間紹介

手仕事で地域の居場所を作ります

つむぎ ワーカーズコレクティブ 紺

配送ワーカーズを通じて知り会えた縁をお婆ちゃんになっても末永く愉しみたくて、地域の居場所となるワーカーズを目指しています。

日頃のおしゃべりの中から、手始めに『ミシンカフェ』をやってみようと、和光支部のくらぶルームぽけっとでスタートし半年になります。ありがたい事に生活クラブ組合員のみなさんからミシンや生地の寄付も頂くなどの応援も沢山いただきました。

開催は概ね毎週 2 回水曜日と木曜日で、毎回 4 ~ 6 人位の参加があり約 8 坪のスペースがミシン



所沢地域協議会
のまつりにて
手作り品の販売

の音と熱気とおしゃべりで一杯になります。

今のところ生活クラブの展示会での洋服売上収入と、ミシンカフェの参加費収入で人件費は出ませんが、今後はメンバーそれぞれが主人公になる事業を展開し、自前のスペースを持つのが目標です。ワケあり格安物件情報募集中です!!

清水 悅子

くらぶルーム「ぽけっと」 048-469-1013
和光市丸山台1-2-2グロワール丸山台1F



ワーカーズをもっと知りたい、
もっと広めたい。
そんな人たちのための冊子

「ホップステップワーカーズ」
起業のためのガイドブック
改訂新版！埼玉 W. Co 連合会発行 500円

「地域で暮らし続けるために 共に支える
ワーカーズコレクティブの福祉事業事例紹介」
WNJ 発行 500円

WNJ：ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン（全国組織です）

あとがき 通勤電車の窓から、真っ白に雪をかぶった富士山が見えた。いつの間にか日陰でなく日向が恋しい。確実に秋がきて、冬に向かっている。歳のせいか、時が経つのがことのほか早いような気がする。しかし被災地の復興はなかなか進まない。

被災された方々の心の中の「時」は、進んでいるのでしょうか？時を刻んでいることを祈るばかりです。（さ）

ワーカーズってなに？

☺出前講座☺

講師派遣します

2時間 1万円 + 交通費
(関係団体は 5千円)

お問い合わせは
事務局まで。



ワーカーズ・コレクティブとは、経営と労働を自主管理・自主運営する主体的な働き方で、
地域に開かれた労働の場を作り出すものです。

発行…埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

1部 100円

発行責任者…後藤成美 編集…広報チーム 佐藤/福島/齊藤/大塚

事務局 〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト内 電話/FAX 048-844-0221

<http://saitama-workers.com/>